

イリス誓約

-深く大地の底へ-

GUIDE BOOK





目次

1. エリアの繋がり	1
2. 鍛冶屋のユナ	2
3. ピップの秘密	3
4. 封印師シャロン	4
5. レブン救済会	5
6. 老人ティミット	6
7. 女神の契約者たち	7
8. 特典画像	13

分岐点について

契約者の血晶石をすべて人喰い町のレブナスに渡すとエンディングが変わります。
レブナスルートでない場合、死魂の城でマギリンの誘いに乗ったらマギリンエンドになります。
主人公が男性の場合、マギリンエンドと世界支配エンドには特別なHCGがあります。



鍛冶屋のユナ

カリネ村の鍛冶屋。冒険者のサポート役。

エルフの血を引いているが、この時代にはもうエルフ族はいないため本人はよく知らない。

1-男性主人公の場合、直接プロポーズでハッピーエンドになります。

このイベントを達成したら、二週目から彼女を仲間にできます。

2-ホランドルームで入手した「合成炭」を渡すと商品が追加されます。

3-名も無き修道院で入手した「溶岩の欠片」を渡すと強力武器「原初の刃」を得られます。

4-老人ティミットからもらった「裂けた竜鱗の盾」を渡すと「竜鱗の直剣」を得られます。





ピップ

ノルドランドの弟子が作ったホモンクルス。その後実験のためにグールに改造された。



1ー嘆きの村で会話後、棺桶からアイテムを入手できるようになります。

このイベントは女剣士ファティナと繋がっています。

もし「無垢な水晶」を持たないで寄り道してファティナのところに行くと、彼女が行方不明となり入隊できなくなります。

2ー復讐者フリーマンを倒してからピップと会話すると、彼は仲間になります。拒絶しても人喰い町でもう一度会えます。

3ーグール状態のピップを死魂の城シルビオンにある錬金実験室に連れていけば、彼は元の体を取り戻して少年の姿に戻ります。

この情報はカリネ村で仲間になったピップとの会話で得られます。

封印師シャロン

悪霊を封印する一族の末裔。

邪悪な意志を封印しようとしていたが、オーバーロードの力に汚染され正気を失っていた。

1-カリネ村で仲間になったシャロンと会話すると白魔法スキルを得られます。

P.S. イリス誓約外伝では彼女は嘆きの村で主人公に「無垢な水晶」を渡す役です。

「無垢な水晶」は彼女の一族が開発した対悪霊専用のアイテムです。



レブン救済会

レブナスの父が創立した宗教団体。

レブナスの父が亡くなった後、青の司祭コネットがその実権派となった。

コネットは破滅した世界を救うために時空を停滞させ、

遙か遠い未来から冒険者を旧世界へ導いて封印の儀式を完成させようとしている。

現代で既に絶滅したアンディア人は旧世界の遺物である「魔水晶」を保存した故、

彼女たちはその「魔水晶」を利用して現代まで来られた。

現代の冒険者であれば、過去の時間を流さず封印の儀式を完成することができる。

しかしレブナスは汚染された人々のために別の救い手を探そうとしている。

マギリンはとシルビオン人は信仰をあきらめ、ただ血晶石の力で一時の快樂と安寧を求める。

彼女たちは各々の信念のために時空を越えて各地を回る。

P.S.イリス誓約外伝の安樹村は本編の現代とは別のパラレルワールドです。

ラミアとカトリーナはその世界でまったく違う人生を歩んでいます。



老人ティミット

旧アロン王国の王都ホランドルームで一人暮らしをする正体不明の老人。

契約者の血晶石を持って彼と会話すれば、その血晶石の種類によって反応が違います。

合計4種類の会話をしたら、彼から「裂けた竜鱗の盾」をもらえます。

特に彼がアメルダの血晶石を見て「きれいだった」と言う時、それはエルフの国を指すか、また別のものをさすか、これからこの世界の裏の物語を語ります。

女神の契約者たち

邪悪な意志の集合体であるオーバーロードはすべての生き物を侵蝕し、汚染する。

世界を救うために、諸国は英雄を派遣して、チームを組んでオーバーロードを討伐することになった。彼らは女神イリスに誓い、命を捨てる覚悟で最後まで戦う。

しかしオーバーロードは不滅の存在、倒したとしても数十年を経ては再び復活する。もしオーバーロードの力を分散して英雄たちの体内に封じ込めれば、その復活を遅らせることができる。しかし封印の儀式を行った英雄たちは死を免れない。

人々はこの英雄たちを女神の契約者と呼ぶ。

剣の契約者

竜殺しのベクティック



元王国騎士団団長、アロン王国一の英雄。

オーバーロードに汚染された彼は正気を失い、嘆き村の惨劇を起こした。

罪に問われ罰を受けるはずだった彼は最後の理性を失い、国王を殺そうとしていた。

その行為が反乱だと見られ、王都ホランドリームの正規軍はベクティックを鎮圧しようとしていたが、一部の兵士も彼と同じ汚染され、味方や市民を無差別攻撃し始めた。ホランドリームは混乱に落ち、激戦の最後、王国騎士団の副団長が力尽きのベクティックにとどめを刺した。

ベクティックが死んだとしても、オーバーロードの意識は続けて彼の死体を操っていた。

アロンの封印師一族はすべての力を尽くして彼の体を王国修道院の地下に封印した。

弓の契約者

天の弓 アメルダ



妖精の森出身のエルフ族の英雄。

オーバーロードに汚染され理性を失った彼女は禁忌のネクターを飲んでしまい、大聖樹の根と一体化となった。彼女の体に封印された邪悪な意志はそのまま森全体を汚染し、エルフの森を侵蝕した。

棘が庭園の入口を封じ、外からの侵入者を拒絶している。唯一腐敗した森に対抗する力を持つものは浄化と再生の力を持つ聖樹の実。

しかし、その実った聖樹を守る半神化した最後のエルフは何度も腐敗した同胞を殺め、もう心が壊れている。彼女たちはただ救いのない森の中で空を眺めることしかできなかった。

杖の契約者

大魔導士 ノルドランド



魔法都市シルピオンの天才魔法使い。

封印の儀式のあと、国に帰った彼女は自身の異変を気づいて、汚染された自分の魔力と魂を切り離し、自らを異空間に閉じ込めた。

打つ手をすべて打ったとしても、シルピオンの滅亡は免れなかった。汚染で暴走した魔力は街と一体化し、巨大な魔物を生み出した。

汚染の拡散を防ぐために、ノルドランドは残り少ない魔力で城門を閉じ、門番ゴーレムを起動した。

その後、彼女はレブン救済会と異なる方法で異世界の冒険者を招こうとしている。

槍の契約者

黒の牙 ベルトウルフ



フォリスタン帝国出身の傭兵。

歴戦の強者としてオーバーロード討伐に参加した。
ノルドランドに継ぎ、彼も自身の異変に気づいて、故郷を出て、人から離れた黒沼で暮らし始めた。
黒沼の奥にあるボロボロの小屋は彼の住む場所だった。
しかしそれでも汚染の拡散を防げなかった。
時々沼に入って狩猟する原住民は最初にオーバーロードに汚染され、彼らを通じて沼の近くにある町まで侵蝕されてしまった。
ベルトウルフ自身もオーバーロードの意志に対抗出来ず、理性のない野獣の姿と化した。
僅かだが、彼は最後まで自分の意識を保っていた。

盾の契約者

お人好しのパラソン

守るのが得意なロジット族の英雄。

パラソンはベクティックの親友で、お互いの背中を守ることを誓い二人は自分が使う盾を交換した。

命を捨てる覚悟だったパラソンはオーバーロードの眷属から契約者たちはただループの一環である真相を知り、イリス誓約の意味を否定し始めた。

その結果彼は封印の儀式を行う前にチームから離脱し、名前をティミットに変えて隠居した。

五人分のオーバーロードの魔力が四人の中に注ぎ込み、悲劇の引き金となった。

自分の選択は間違っていないと信じていても、仲間に対する罪悪感から逃れることができない。







